

# 国登録有形文化財（建造物）の登録について

## 1 名称等

名 称	員数	年代
まさきほんてんてんぼけんしゅおく 正木本店店舗兼主屋	1棟	江戸末期
まさきほんてんちよぞうこ 正木本店貯蔵庫	1棟	大正後期
まさきほんてんしこみこ 正木本店仕込庫	1棟	大正7年
まさきほんてんきしゅこ 正木本店生酒庫	1棟	大正13年
まさきほんてんかいしよば かまば えんとつ 正木本店会所場・釜場・煙突	1棟	大正後期

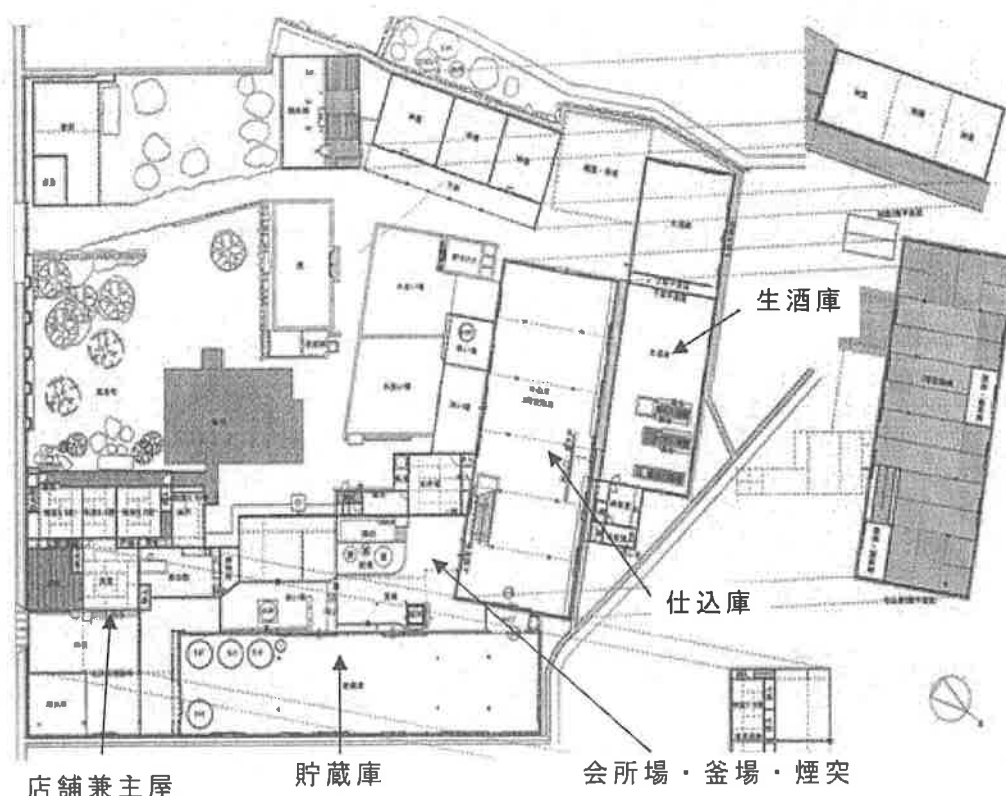
2 所有者 正木妙子

3 所在地 北宇和郡松野町松丸 86 番地

4 登録基準 国土の歴史的景観に寄与している

## 5 特徴・評価

正木本店は安政 6 年(1859)から文久年間に酒造業を創業したと伝えられており、店舗兼主屋は、切妻造の店舗と入母屋造の座敷部からなり、異なる意匠の外観を巧みに連ね街道沿いの景観を形成する。貯蔵庫は店舗部北方にある街路に面して建つ。大規模な仕込庫、生酒庫が平行して建ち、会所場・釜場・煙突は、高さ14mの煉瓦造の煙突を建て、酒造場に相応しい景観を形成している。



### 【正木本店店舗兼主屋】

松丸街道沿いの南に面し、店舗部は切妻造で、正面一階に格子を構え、二階は塗込め窓を連続し、内部は土間吹抜けに豪壮な梁組をみせる。座敷部は入母屋造で下屋庇を廻らし、内部に3室を並べる。異なる意匠の外観を巧みに連ね、街道沿いの景観を形成する。

### 【正木本店貯蔵庫】

店舗部の北に続く貯蔵庫であり、梁間4間で、桁行11間半の平屋建部と桁行4間の二階建部からなり、いずれも切妻造、棧瓦葺である。内部は1室で鉄骨の梁を用いて小屋組を造る。外壁は漆喰塗腰壁板張で、塗込の格子窓を要所に穿ち、街路からの景観を特徴付ける。

### 【正木本店仕込庫】

貯蔵庫の西に東西棟で直行し、桁行12間、梁間6間、二階建で、屋根は切妻造、棧瓦葺とする。内部は、1室で、一階階高は4mあり、中央2列に直径27cmで磨き丸太のままのスギ材の柱を2間毎に立て二階床組を支える大規模な仕込庫。

### 【正木本店生酒庫】

仕込庫の北に東西棟で平行する。桁行13間半、梁間4間、平屋建で、東に梁間2間の検査室を張出す。屋根は切妻造、棧瓦葺とする。小屋組はキングポストラスとし、筋交や方杖で補強し、広い梁間を構成する。安定した採光を確保するため北面に窓を穿つ。

※ 生酒庫・・・仕込後の原酒を搾る工程を行う場所

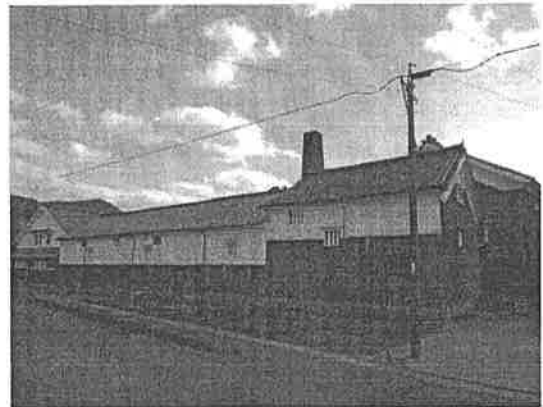
### 【正木本店会所場・釜場・煙突】

貯蔵庫と仕込庫の入隅に建つ、貯蔵庫西面で釜場が接し、北に12畳半の会所場を張り出し、全体に切妻造の屋根を大きく架ける。釜場内に建つ煙突は、一辺1.8mの正方形平面をもつ煉瓦造で高さ14mあり、酒造場に相応しい景観を形成している。

※ 会所場・・・杜氏等従業員が休憩や打合せを行う場



正木本店店舗兼主屋



正木本店貯蔵庫